

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

手術室看護師への PALS トレーニングにおける迅速反復練習法と従来法に対する満足度に関するアンケート調査

1. 研究の対象

2021年8月～12月に手術室で PALS トレーニングを受ける手術室看護師

2. 研究目的・方法・研究期間

医療従事者における小児心停止患者への2次救命措置(Pediatric Advanced Life Support :PALS)のトレーニングの重要性は広く認識されている。これには高忠実度シミュレーターを用いたシミュレーショントレーニングを行う。シミュレーションセッションの進行は、7分程度のシナリオを行った後、40-50分程度のディスカッションの時間を持つことで学習者がとった行動の振り返りを行う。しかし、この方法(従来法)では単回の練習機会しか得られない。そこで近年、Huntらは、急速反復練習法(Rapid Cycle Deliberate Practice)による医学シミュレーション施行法を提唱した。RCDPでは、シナリオを各ラウンドに分割し、それぞれに学習者の達成すべき目標項目があらかじめ設定される。シナリオは各ラウンドの終わりで中断され、チームに学習項目をブリーフィングで確認及び達成したのちに再度、シナリオを始めからやり直し次のラウンドまで進む。これを繰り返すことにより、学習者は実際の高性能マネキンを用いた複数回のシミュレーションを施行することが可能となる。Danielらは、パイロット研究において小児救急領域におけるRCDPの学習効果が従来型に比べて高いことを報告している。しかしながら、手術室看護師へのPALSトレーニングにおける満足度について従来法とRCDPを比較した研究はまだない。学習者の満足度は、学習効果に大きな影響を与えられとされるため重要と考える。

・研究期間 倫理委員会承認日から2年

・方法

本研究では、口頭による同意がとれた当センター手術室看護師を対象とする。

現在、手術室で行われている高忠実度シミュレーターを用いたACLSトレーニングの直後にフィラデルフィア小児病院で使用されている満足度に関するフィードバック用紙を用いて(妥当性は報告されているものを日本語訳したもの:別紙参照)参加者に回答してもらう。参加者は、あらかじめ従来法または迅速反復練習法によるセッションに参加するかについて無作為化割り付けを行い(クラスターランダム化割り付け:3人一組)、60分のPALSセッションを受ける。両者ともに1人のシミュレーション医学のトレーニングを受けた麻酔科医(TK)がファシリテーションを行う(または他の麻酔科医が行う際に補助する)同じ学習内容を学習者がうけられるように

配慮し、シミュレーションセッションを行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、卒後年数、シミュレーショントレーニングの慣れの有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 麻酔科 担当者名 小嶋 大樹

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター麻酔科 小嶋 大樹

公開日 2021年7月31日

-----以上